

### 第3回岩国市地域福祉計画素案策定委員会 審議要約

- 1 開催日時 平成21年8月18日(火) 18時30分～20時
- 2 開催場所 岩国市役所 2階 特別会議室
- 3 出席者 【委員14名】  
瀧山委員長、澤井副委員長、今田委員、植野委員、大谷委員、河角委員  
川野委員、嶋田委員、寺本委員、中佐委員、中村委員、橋本委員、藤本委員  
村岡委員  
【事務局】  
社会課長 福岡、社会課長補佐兼地域福祉推進室長 山下、同室 松本、河村
- 4 議題 (1) 第2章「地域を取り巻く状況」について(公開)  
(2) 第3章「地域福祉を推進するために」について(公開)  
(3) 第4章「地域福祉を推進するための課題と対応」より各課題設定について(公開)
- 5 傍聴者 なし
- 6 審議要旨
  - (1) 第2章「地域を取り巻く状況」について
    - 家庭児童相談室取扱い件数の増加、自治会加入率の減少それぞれの原因と対応が気になるところである。
    - アパート住まいの人は、自治会に加入していない人がたくさんいる。単に住んでいるだけで他の人は関係ない、自治会に加入すると会合に出席しないといけないと考える人が多いと思われる。
    - 自治会加入率は地域別に相当格差があると思われる。特に、市外部においてかなり率を下げているのではないか。
    - 自治会に加入していないと隣近所や地域とのつながりが非常に弱いため、普段の見守りをするのに支障をきたす。
    - 限界集落の問題についてもあわせて検討していく必要がある。
    - アパート住まいの人とは対照的に、一戸建ての人はほとんど自治会に加入している。
    - これから長いこと住むうえで、アパートに住む人は、自治会の必要性や近所づきあいの必要性が違うように思われる。
    - 第一次岩国市地域福祉計画の成果の中で、成果とあるが、成果ではなく、評価ではないのか？今回の地域福祉計画においても、評価をどのようにしていくのか検討してほしい。
  - (2) 第3章「地域福祉を推進するために」について
    - 5層の圏域については、現状に沿っているが、先の状況をみながら、整合性をとって

く。

- 課題の中の住民参加という言葉は、広範囲を含みすぎているように感じる。ボランティアという言葉は別の課題に取り上げたほうがいいと思う。
- 元気な高齢者をどのように活用し、その人達をどのように取り込んでいくかが問題である。
- 若い人はいろいろな面で警戒心が強いと思われる。ちょっとしたきっかけづくりをしてあげれば、参加促進につながると思う。
- 多くの人がボランティアに登録しているが、やみくもに登録するだけでなく、まずボランティア教育を受けることが重要だと思う。ボランティア教育を受けてから登録をするほうがいいと思う。

(3) 第4章「地域福祉を推進するための課題と対応」より各課題設定について

- それぞれの課題に対する対応策は次回の策定委員会で詳しく説明する予定である。
- 今回の3つの基本目標に対するそれぞれの課題に対する対応策を委員の方にも考えていただきたい。その対応策とは、どのように対応したら地域福祉活動に取り組みやすい環境になるのかといった地域福祉活動を行うための環境の整備の観点から考えていただきたい。
- 介護については、近所の助け合いがないと難しい状況である。今後はいかにして助け合いを推進させていけるかが重要になってくると思う。